

令和2年度 総括 事業報告・決算報告

1. 事業報告概要

法人本部

1. 年度方針・理念等

～ありのままのあなたと いつも向き合い、支え合い のぞみに向かって わを広げ～
住みよい環境づくりを進めます

2. 重点課題

- ・法人の中期経営計画(新施設計画、人事・育成制度、環境整備)実現に向けた取組推進
- ・法人WLB推進ビジョン～最高の職場環境が、最高の利用者サービスへ～実現のための取組推進
- ・採用活動の強化、又法人の魅力発信のための広報活動強化等、直結する取り組みの検討
- ・ICT化や事務業務見直しによる標準化・効率化及び働き方改革の推進

3. 総評

昨年2月以降、中国武漢からの帰国便やクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号で新型コロナウイルスが発生し、その後も国内で相次ぐ感染・クラスターの報告が日々報道され、現在までも日本のみならず世界中で新型コロナウイルスの感染拡大そしてその対策の一色となり、未だ終結は見えていません。

当法人においてもマスクや消毒液、使い捨て手袋等が必要急増による入手困難な状況を受けつつ、国の緊急事態宣言中では施設利用自粛や利用抑制実施等の様々な影響を受け、職員にも行動の制限をお願いするなど、不自由な運営を余儀なくされました。この間、感染者を出さないよう、また感染者が発生した際の方針として「新型コロナウイルスに対する対応基準」及び「事業継続計画(BCP)」を策定すると共に、理事長・常務理事による通知・通達を隨時発出しながら、Web会議への移行も含め法人内で統一した感染予防並びにクラスター防止対策を徹底しました。今後もこうした取り組みを始め、三密を避ける工夫など引き続き注意して運営してまいります。

令和3年4月開設の生活介護施設「花畠あかしあ園」が無事に竣工を迎えました。利用者・ご家族はもちろんのこと、地域の方々にとっても喜ばれる施設となるよう運営してまいります。

足立あかしあ園

1. 年度方針・理念等

あしたも安心、あしたもイキイキ
将来に向けた今できる取り組みの実現

2. 重点課題

- ・自己選択・自己決定の実践とやりがい・生きがいが得られるサービスの提供
- ・支援員間の連携と互いに尊重し協働し合える環境の構築
- ・利用者出席率5%向上
- ・各種活動の見直し・改善と安定的運用、接遇・サービスの質の向上

3. 総評

新型コロナウイルス感染症の影響から利用が大幅に控えられた時期がありましたが、足立区の代替的なサービス提供の緩和を受け、ご自宅への連絡や訪問による在宅支援等の対応を行いました。また、安心して通所いただくために細部まで徹底した感染症対策を継続して実施しました。

利用者を一人の人として尊重し、個々のニーズに応じた個別支援計画書を基本に自己決定・自己選択の実践を柱としたサービス提供の実施とともに、グループ活動の目的の明確化と具体的な実施方法の見直しを行い、統一したサービス提供に努めました。

施設業務全般においては、職員一人ひとりの支援・事務業務の分担化・共有化、役割の明確化を図り、個々の段階に合わせた成長へ繋がる取り組みを実施しました。出席率については、0.3%増加しました。

綾瀬あかしあ園

1. 年度方針・理念等

～みんなでほつといっしょにいきいきと～

安心・信頼を大切に 共に考え学び お互いの自己実現を目指します

2. 重点課題

- ・職員間のコミュニケーション・チームワークの強化
- ・将来に向けた情報共有と意識向上、環境設定や活動の具体化
- ・地域との関わりを日常化して顔を知った関係を築き、利用者・職員共に地域の一員としての自覚が持てるよう地域共生を目指す

3. 総評

本年度は、法人の新型コロナウイルス対応基準に基づく感染症対策を実施しながら、重点課題へ取り組む難しい年度となりました。

将来的な高齢化・障がいの重度化等に向け、利用者個々の身体状況の変化からの事故・怪我等のリスクマネジメントの視点も強化しながら会議等で情報共有や対策を進めました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策、並びに職員間のコミュニケーション・チームワーク力の強化に、日常的なWeb会議を実施し、その都度方向性の確認を行い業務の標準化に努めました。

「地域食堂(あやせもりのひろば)」の実施を中止していましたが、その代替案として「フードパントリー」を企画し、9月より計4回実施しました。

舎人あかしあ園

1. 年度方針・理念等

～一人ひとりを大切に～

一人ひとりの歴史・思い・生活・個性を大切にして、夢や希望に向けた支援を行います

2. 重点課題

- ・地域交流を目的とした「ふおらん舎人店」の更なる活性化
- ・介助マニュアルの活用を進めた安心・安全な支援体制の再構築
- ・各グループの特色の明確化し、質の高いサービスの提供
- ・前年度比+5%の出席率向上

3. 総評

本年度は新型コロナ感染症対策を最優先とし、行事・式典等は縮小や中止としましたが、入所式や成人を祝う会、各グループ活動、サークル活動等、真心を込めてできる限り実施しました。

また、ご利用者・ご家族に舎人あかしあ園における感染症対策の具体的な内容をお伝えし、理解を得ると共に不安の軽減に努めました。地域交流「ふおらん」の営業は十分にできませんでしたが、開店に備えた職員研修を実施しました。また、介助マニュアルの活用については個々に活用度にばらつきがあり、次年度に向けた継続課題として取り組んでまいります。グループ活動では、特に自主生産品の制作等に取り組み、グループの特色を出しました。出席率については若干は改善したものの79.2%に留まっており、次年度も引き続き個別の課題に丁寧に取り組み、出席率の向上に繋げたいと考えます。

竹の塚あかしあの杜

1. 年度方針・理念等

『一人ひとりにとって”価値”ある一日を』

私たちは、一日いちにちを大切に、全力で、前向きに、誠実に取り組みます

2. 重点課題

- ・施設全体における組織体制の見直し・業務改善の実施。
- ・防災対策の強化(災害に備えた訓練の強化・備品等の補充)
- ・地域への貢献(地域交流行事・車椅子講座・その他地域との交流)
- ・施設におけるノーリフトの取り組みの推進

3. 総評

本年度は、新型コロナウイルスへの対応と入所支援事業における女性職員の慢性的な人出不足の影響を受け、重点課題を計画的に取り組むことが難しい状況が続きました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、緊急事態宣言下における短期入所の一時休止とサービス利用自粛要請、日中活動サービスの縮小、外来者の入館制限、全職員を対象としたPCR検査実施等の取り組みを行いながら、事業の維持・管理に努めました。当初、大幅な稼働率低下が懸念されましたが、生活介護は代替的なサービス提供の緩和を受け、在宅支援の実施により稼働率を堅持しました。

また、入所支援事業については、生活介護事業(通所)より、入浴介助・食事介助・変則勤務配置等の全面的なバックアップを行い、サービス提供体制を維持しました。

あいのわ支援センター

1. 年度方針・理念等

～あなたらしく生きるために、あなたがホッとできる”場所”を目指します～

2. 重点課題

- ・内部研修の強化及びサービスの向上
- ・人材確保及び支援力の強化
- ・共同生活援助の入居者選定の促進、及び居宅介護・公益事業の新規受け入れ拡大
- ・相談支援事業による利用者及び家族向けの啓発活動の実施

3. 総評

新型コロナウイルス感染症の拡大が、サービス提供に大きく影響をもたらす一年になりました。BCPを基に、感染症対策の実施と利用者・職員の健康を最優先にした事業運営に取り組みました。情勢に伴い、研修はICT機器の活用等で工夫を図り、兼務職員や相談支援、居宅介護との連携したガバナンス強化に努めました。短期入所の受け入れや利用者の外出支援を中止せざるを得ない状況が続く中、共同生活援助利用者を対象に個別活動を行う等、生活の充実に配慮したサービス提供を図りました。

利用者の身体状況の変化による個別支援が求められる中、ニーズを的確に捉え将来の生活を見据えた支援が必要となっています。

引き続き、感染症対策を強化し、利用者の安心で安全な地域生活支援の提供に反映してまいります。

神明障がい福祉施設

1. 年度方針・理念等

～いちにち一日を大切に～
利用者の自己実現を目指し、安心して通所出来るよう支援します

2. 重点課題

- ・職員個々の支援力の向上
- ・職員一人ひとりの理解と実践の促進を図り、様々なリスク対応の向上
- ・地域に開かれた施設づくり(近隣施設との交流、自治体との交流の強化)
- ・防災に関する実践と整備の強化(本番を想定した訓練の実施、備品等の整備)

3. 総評

本年度は、施設理念のもと、日々の時間や場面を大切にしながら、サービス提供を行いました。感染防止の観点から、活動や作業においては可能なものは継続して提供しています。利用者・職員の健康確認や管理を行い、安心して利用いただけるよう努めました。

近隣施設や自治体との交流では取り組みが限定されましたが、職員個々の支援力向上や防災訓練、内部研修に注力し、様々なリスク対応力の向上につながりました。

本年度、様々な活動や作業、研修等が変更・中止となった中には、代替となるものを見出せていないものもあります。地域の中で安心して利用いただき、利用者が自己実現を図れるよう、引き続き課題に向かいながらサービス提供をしてまいります。

大谷田障がい福祉施設

1. 年度方針・理念等

大谷田就労支援センター～利用者の「働く」「生活」「健康」を支援します～
大谷田ホーム～生活の安心・安全を支援します～

2. 重点課題

- ・個別支援計画に基づいた支援の徹底
- ・利用者出席率向上
- ・就労支援事業の売上向上及び新規作業の開拓と安定化
- ・安定した生活環境の向上

3. 総評

大谷田就労支援センターでは新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、印刷や軽作業の売上が減少したものの、新たな清掃作業が大きな収入源となり、全体の売上としては微減に留めました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として作業スペース・食堂への飛沫防止パネルの設置や館内消毒等を実施し罹患者を出すことなく一年を過ごすことができました。

大谷田ホームでは前年度と変わらず5名の方が入居されています。新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、安心して生活ができるよう取り組みました。受託居宅事業者と密に連携を図りながら利用の方へのサービスに過不足がないよう取り組みました。